

受領 令和5年3月2日 8時30分

通告番号 (16) 1/2

令和5年3月2日

読谷村議会
議長 伊波 篤 殿

読谷村議会議員
神 谷 嘉 栄 印

一般質問通告書

第524回読谷村議会定例会において次の事項の質問をしたいので、会議規則第61条第2項の規定により通告いたします。

質 問 要 旨	答弁を求める者
<p>1 令和5年度 施政方針より</p> <p>(1) 「飼料等の世界的な高騰対策支援として、耕種農家と畜産農家の耕畜連携による循環型農業を推進してまいります。」とあるが、具体的な説明を求める。</p> <p>(2) 「村民の健康維持増進につきましては、新たに歯周疾患健診を実施し、口腔の健康・保持増進に取り組んでまいります。」とあるが、その必要性と取り組み方法や対象者について伺う。</p> <p>(3) 「地域医療につきましては、子どもから高齢者まで誰もが住み慣れた地域で安心して生活していけるよう、読谷型地域包括ケアシステムの構築に取り組んでまいります。」とあるが、『読谷型地域包括ケアシステムの構築』とは。</p> <p>(4) 「学校給食への食材や加工品提供などをさらに促進し、農商工連携による地産地消の推進に取り組んでまいります。」とあるが、『商』と『工』の関わりについての説明を求める。</p> <p>(5) 「令和7年度に予定する行政情報システムの標準化およびガバメントクラウドへの移行に向け、取り組みを進めてまいります。」とあるが、行政情報システムの『標準化』とは何か。</p>	

質 問 要 旨	答弁を求める者
<p>(6) 「職員の育成につきましては、村民ニーズの変化に柔軟に対応できる職員を育成するため、派遣研修や自主研修を実施し、村民サービスの向上に務めてまいります。」とあるが、去った2月15日の町村議会議員の研修会において、県市町村課による市町村職員実務研修生の受け入れに対し、本村の研修実績は平成6年からの29年間で、平成13年の1回であった。意図する研修自体が違うのか説明を求める。</p>	
<p>2 交通安全対策について</p> <p>(1) 読谷中学校付近にて車両による人身事故が発生したことが一因となり信号機設置要請の声が上がったようだったが、その後はどうなったか。進捗はあったのか。</p> <p>(2) 村道瀬名波線と交差する村道渡慶次～瀬名波線の一時停止の道路標示がほとんど消えた状態であり、出会い頭の事故が懸念される。また、村道瀬名波3号線についても同様の思いである。一時停止を促す白線だけでも標示できないだろうか。さらには、車の運転手に対して減速を喚起するような安全策は講じられないだろうか。</p>	
<p>3 学校給食の現状と公会計化について</p> <p>(1) 昨今の諸物価の高騰により食材費へも影響があらうと察するが、現在の給食調理場における台所事情を伺う。</p> <p>(2) 徴収金管理の観点から学校以外が担うべきだと思えるのだが、今後、公会計化について本村の考えを伺う。</p>	
<p>4 村立中学校の状況について</p> <p>(1) 読谷中、古堅中の今年度の在籍全生徒数と新年度の入学予定者を含めた全生徒数をそれぞれに伺う。</p> <p>(2) 2中学校とも制服は学生服とセーラー服だと思われるが、その制服の着用についての説明を求める。</p>	